

平成23年度の予算案などを審議する『平成23年第1回登別市議会定例会』において、小笠原市長と武田教育長がそれぞれ『市政執行方針』と『教育行政執行方針』を発表しました。

今号では、登別市の平成23年度市政執行方針と教育行政執行方針、予算についてお知らせします。

# 育みしる 人材を かする 活かす 飛躍する

# 結の年

## 平成23年度 市政執行方針

平成23年第1回登別市議会定例会に当たり、本年度の市政執行に臨む基本的な考え方と施策の重点について申し上げます。

わが国経済は、昨年来、世界経済の緩やかな回復が続く中で、景気は持ち直してきたとされているものの、雇用情勢においては失業率が高水準で推移する状況にあるなど、依然として厳しい情勢が続いております。

また、道内経済においては、持ち直しの動きに足踏み感もうかがわれ、依然として厳しい状況に変わりはなく、先行きについては国内外の経済情勢や政策措置終了による影響などを十分注視する必要があるとされ、予断を許さない状況となっております。

当市の財政状況も、景気の動向と無縁ではなく、依然として厳しい状況にあります。

平成25年度までの財政状況の試算では、これまでの財源不足は圧縮するものの、毎年度収支不足が生じる見込みであり、今後においても厳しい財政運営を強いられることは避けられない状況にあります。限られた財源の有効活用を図りながら、将来のまちのあり方について市民の皆さんとともに知恵を出し合い、議論を深めてまいりたいと思えます。

私は、平成20年の登別市長選挙において、登別市制施行後、初めての民間出身の市長として多くの市民の皆さんからの負託を受け、積極的に

市民の皆さんとの対話を重ねながら、登別市役所を

『市民のために行動する、  
柔軟で挑戦し続ける』  
『市民の皆さんに愛される』  
日本一の市役所にする

というスローガンの下に職員と一丸になって取り組んでまいりました。

振り返ってみますと、市制施行40周年を迎えた昨年は、『総合計画第2期基本計画』の中間年に当たることから、計画の前半5年間を検証し進捗状況をまとめるとともに、後半の5年間に推進する方向性などを『総合計画第2期基本計画（2010年中間点検見直し版）』として点検・整理しました。

また、この中間点検に併せて、今後展開する施策などの歳出見込みを反映させ、平成25年度までの『中期財政見通し』を策定するとともに、将来にわたり質の高い行政サービスを提供できる自治体を目指し、健全でより強固な行財政基盤の確立などを図るため、『登別市行財政改革プラン2010』を策定しました。

これらの点検や策定作業の際には、私自身も直接検証に当たり、積極的に職員との協議を重ねましたので、私の思いを盛り込んだ内容になった